

公示 360号
令和6年7月9日



令和5年度事業報告及び財産目録認定の件

標記の件、令和6年7月8日開催の第78回組合会において認定されましたので、別紙のとおり公示します。

以上

第1 令和5年度 事業の概要

令和5年度の当健保の事業運営は依然として厳しい状況が続いています。令和4年度に保険料率を5%引き上げ6.4%としましたが、国への高齢者向け納付金が上昇し、保険給付費もコロナ以降に上昇を続けていることため、積立金からの繰入れで補いながら運営を行っています。

一方で健康増進と疾病予防対策として、加入者の現状やニーズを考えて新たな保険事業の展開も精力的に行いました。

このため令和5年度の収支決算は、収入合計額が881,947千円、支出合計額は748,428千円となり、ここから繰越金や繰入金などを差し引いた経常収支としては92,500千円の赤字となりました。

令和5年度の収支の基となる基礎数値について、加入者数は当年度に新規加入の事業所もなかったことから被保険者数が6名増の978名（人数は年間平均、以下同）、被扶養者数は7名減の1,015名と、ほぼ前年と変動はありません。保険料率は6.4%です。

収入について、保険料計算の基となる平均標準報酬月額は前年度比で大きく増加し、一方の総標準賞与額が減っておりますが、これは主たる加入事業所の関西テレビが年4回賞与支給制を導入したことが大きく影響しています。

当年度の保険料の収入は前年度比マイナス31,928千円の881,947千円。保険料以外の収入として、財政調整事業交付金（高額医療費に対する交付金）は予算額251千円に対し決算額2,411千円で対予算プラス2,160千円、雑収入は予算額2,908千円に対し、決算額3,123千円となり対予算プラス215千円となりました。

収入合計では881,947千円、実質的な指標となる経常収入の合計は640,745千円となりました。

支出について。支出の3大要素は医療費に対する保険給付費、そして国の高齢者医療制度を支えるための納付金、そして当健保が独自で行っている健康増進と疾病予防のための保険事業費です。

まず、保険給付費は前年度比プラス13,790千円の330,026千円で、その内訳は法定給付費が315,174千円、付加給付費は14,852千円でした。

次に納付金です。納付金の内訳は主に前期高齢者納付金と後期高齢者支援金となります。両方の合計で339,126千円、前年度比プラス88,724千円と大幅増となりました。前期高齢者納付金は100,353千円で前年度比プラス72,062千円、後期高齢者支援金は238,770円で前年比プラス16,665千円でした。

前年比が大幅に増加しているのは前の年の前期高齢者納付金が例年よりも非常に低額だったこと、加えて後期高齢者支援金は国全体における75歳以上の対象者が増加していることなどが影響していると考えられます。

前述の通り、当年度は92,500千円の経常赤字となりました。その最大の要因はこの納付金支出といえますが、支出全体のうち45.3%をしめ、保険給付費の44.1%をも上回る状況です。

令和7年度にはいわゆる団塊の世代がすべて75歳以上になることから、今後さらに上昇するものと思われます。

保健事業費は41,907千円で、前年度比でプラス2,268千円となりました。当年度は国が求める第3期データヘルス計画の策定年でもあり、今後の医療費抑制のためにも健康増進と疾病予防対策はしっかりと強化する必要があると考えています。

当年度も費用補助事業として人間ドックや女性健診、インフルエンザ予防接種補助等を実施し、いわゆる「未病」対策の柱としては特定保健指導の強化を行いました。口腔衛生指導も継続しています。

また、前年度より実施しているメンタルヘルスカウンセリング事業に加え、当年度はストレスチェック事業も開始しました。

こういったメンタルケアは社会的にも重要視されておりますが、当健保の加入事業所には経営規模の小さな会社もありますので、健保組合で行う保険事業によってグループ全体の福利厚生のフォローができればとも考えています。

またこの他、健康増進事業として、契約保養施設やライフスポーツKTV利用時、またスポーツ教室参加時への補助事業を行っています。

次に介護保険について。基礎数値として対象の被保険者及び被扶養者の人数は前年度比5名減の832人、この内で被保険者本人のみについては前年度から2名増の574名でした。介護保険料率は17／1,000、負担割合は本人と事業主の折半で、前年度と変更はありません

令和5年度の介護保険料収入は119,139千円、前年度比でマイナス5,976千円。支出である介護納付金は121,953千円前年度比プラス5,867千円となりました。前年度からの繰越金をあわせた収支差引き額は14,096千円となり、残金処分として準備金への繰入れと次年度への繰越しを行います。

関西テレビ放送健康保険組合財産目録

1. 一般勘定

令和6年5月31日現在

種 別		金額又は価格 (円)	備 考
準 備 金	金 員	普通預金	31,000,000
		金銭信託	100,000,000
		社債	0
	その他	連合会出資金	0
		支払基金委託金	0
	小 計		131,000,000
別途積立金	金 員	普通預金	199,012,754
		定期預金	60,000,000
		金銭信託	100,000,000
		公社債投信	0
		債券	400,000,000
			大和証券、野村證券
	その他	連合会出資金	0
		支払基金委託金	4,625,000
	土地		0
	建物		0
	小 計		763,637,754
退職積立金	金 員	普通預金	2,097,100
		定期預金	0
		社債	0
	小 計		2,097,100
	合 計		896,734,854

(注) 三菱東京UFJ銀行…梅田新道支店 三井住友信託銀行…大阪本店法人業務部
 大和証券…大阪支店 SMBC日興証券…事業法人営業部